

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業名	事業内容																																
I 留学生宿舎の運営事業	1) みつわ台宿舎(OSF国際学生会館) 2) 緑町家族宿舎																																
1) みつわ台宿舎(単身用)	<p>所在地 千葉市若葉区みつわ台1丁目4番8号 入居者 通学可能範囲の大学の単身在籍者 定員 15名(1人部屋15室) 入居期間 入居日から6年間 入居経費 入居料(一時金)20,000円 部屋代月額10,000円、その他居室内電気料及び夕食会参加費 共用部分の光熱水費及び生活用品代の1/12</p> <p>国籍別入居者</p> <table border="1" data-bbox="625 907 1278 1205"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">国籍</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="2">性別</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中国</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>韓国</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ベトナム</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>モンゴル</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>入居者の交流事業</p> <p>財団本部での例会は殆どが中止(4月に一度だけ、家族寮生との顔合わせを行ったのみ)。 毎週水曜日に会館生自身が料理をメンバーに振る舞う「一品料理会」については、感染者数の落ち着いているタイミングを見計らって年4回実施した。その他の水曜日のミーティングについては感染者数の大小にかかわらず対面で実施。 入居者の通う大学(千葉大、敬愛大)ではオンライン授業も徐々に減っていき、年度末には自室から授業に参加することも少なくなっていた。 感染対策については引き続き帰宅の際の消毒の徹底を実施。なお幸いにも感染者は発生しなかったが、期中に一名が濃厚接触者(陰性)となったので、館長室を開放し当該入居者を隔離した。 なお、令和3年度より館長が館上へと引継ぎとなった。</p>		国籍	合計	性別		男	女	1	中国	3	3	0	2	韓国	4	3	1	3	ベトナム	1	0	1	4	モンゴル	1	1	0	計		9	7	2
	国籍				合計	性別																											
		男	女																														
1	中国	3	3	0																													
2	韓国	4	3	1																													
3	ベトナム	1	0	1																													
4	モンゴル	1	1	0																													
計		9	7	2																													

事業名		事業内容
I	2) 緑町宿舎 (家族用)	<p>所在地 千葉市稲毛区緑町1丁目19番11号</p> <p>入居者 留学生とその家族</p> <p>入居期間 入居日から6年間</p> <p>入居経費 入居料 部屋代の1か月分 部屋代 月額 36,000円</p> <p>部屋の広さ 2DK 47～54㎡</p> <p>入居人員 中国(内モンゴル)1世帯、 モンゴル1世帯の全2世帯</p> <p>*入居料は退去時の清掃や破損部分修理費に当てられる。</p> <p>入居者の交流事業 毎年実施していた会館OBOG会ならびに奨学生との交流会は、全て中止となった。</p>

事業名	事業内容																											
<p>II 留学生 奨学金支給事業</p> <p>1、支給対象者</p> <p>2、支給額</p> <p>3、支給人員</p> <p>4、支給総額</p>	<p>大学(除く短期大学)の学部生、大学院生のほか、財団が特に認めた者。それぞれ次の条件に該当する者。</p> <p>1) 私費外国人留学生 2) 千葉県内の大学に在籍する者。 または県外の大学に在籍し、千葉県内に居住する者。 3) 他の財団等から年額600,000円を超える奨学金等を受けていない者。</p> <p>月額 80,000円</p> <p>11名</p> <p style="text-align: center;">国籍別支給人員</p> <table border="1" data-bbox="627 887 1278 1115"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">国籍</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="2">性別</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中国</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>台湾</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ネパール</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学 8名 県外大学 3名</p> <p>10,560,000円</p> <p>奨学生の交流事業 計10回の奨学生例会のうち、感染者が急激に増加した7月のみオンラインであったが、残りの9回については対面で実施した。内容は自己紹介、集団でできるゲーム、たこ焼き作りパーティー、クリスマス会など。単に会話するだけの例会もあり、またお正月のおせち料理についてpptで勉強したり、一年間皆が使い捨てカメラで撮影した写真を展示するという企画も行った。ただ、感染状況に合わせて企画を検討・変更することはスタッフ側にも負担が大きいので、今後は各年の例会内容をある程度固定化できると、企画・運営がスムーズになる。 なお、2月に実施した次年度奨学生の選考会については感染者数の高止まりを考慮し、選考委員の先生方にお越しいただくことなく、代表理事と専務理事のみで選考を行った。</p>		国籍	人数	性別		男	女	1	中国	9	2	7	2	台湾	1	1	0	3	ネパール	1	1	0	計		11	4	7
	国籍				人数	性別																						
		男	女																									
1	中国	9	2	7																								
2	台湾	1	1	0																								
3	ネパール	1	1	0																								
計		11	4	7																								

事業名		事業内容
III	外国及びわが国の学生青年の国際交流事業	<p>国際交流事業</p> <p>日本語教室については、感染対策のため令和3年度は実施しなかった。また希望学生による広島旅行や、12月の年忘れパーティーも全て中止となった。</p>
IV	機関紙の発行	<p>機関紙「OSFだより」の発行 / ホームページ公開</p> <p>部 数 年4回発行 1回270部</p> <p>内 容 留学生に対する諸情報の提供、財団の近況、留学生紹介等</p> <p>配付先 財団役員ほか関係者、関係団体、県内各大学 財団現役生、OB、その他留学生、ボランティア</p> <p>※コロナに伴い国際郵便が届きにくくなっているため、海外への発送は現在停止している。</p>
V	その他の活動	<p>役員会</p> <p>令和3年度の全役員会(理事会3回、監査会1回、評議員会1回)は残念ながら、すべて書面での開催となった。</p> <p>財団本部</p> <p>財団本部での日常業務は、引き続き換気、マスクの着用、手指の消毒など、基本的な感染対策を行ったうえで、10時から15時までの時短営業を継続した。緊急事態宣言下では、スタッフ2名による輪番制およびテレワークも実施した。</p> <p>来客は事前にアポイントメントを取るよう依頼し、不特定多数の出入りを可能な限り制限した。それでも来訪してくれるOBOGは前年度よりも増加してきており、コロナ前の賑わいが少し戻りつつある。</p> <p>なお12月～1月にかけて、資産取得資金を用いて本部建物の大規模な改良修繕工事を実施した。</p> <p>関係団体との交流</p> <p>JISSA(留学生団体連絡協議会): 令和3年度年度は活動を停止。総会や分科会も全て中止となった。</p> <p>留団協(日本留学生宿舍財団法人協議会): 6月、8月、11月、2月にそれぞれオンラインにて会議実施。</p>
VI	収益事業(不動産の賃貸)	活動に必要な資金を補うために、OSFビル3階部分の3部屋を賃貸。